

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることが できない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
銘柄コード	4819



株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111 ✉dg4819.ir@garage.co.jp

Business Report

第19期 2014年6月期 第2四半期



HONG KONG
Tsing Ma Bridge

TOKYO
Rainbow Bridge

SAN FRANCISCO
Golden Gate Bridge

20 ANNIVERSARY DIGITAL GARAGE YEARS

Incubation Segment / インキュベーション事業



Marketing Segment / マーケティング事業



Payment Segment / 決済事業



Affiliated Companies
関連会社



Digital Garage Group

グローバル展開に向けた体制作りが完了

～米国・日本・香港の3拠点を結ぶ Lean Global 体制が確立～

【2014.6期 第2四半期決算上方修正】

デジタルガレージ(DG)の2014年6月期 第2四半期決算(7月～12月)は、売上高15,622百万円(前年同期比13%増)、営業利益812百万円(同72%増)、経常利益1,687百万円(同45%増)と大幅な増収増益を達成することができました。

インキュベーション事業において、新規株式公開(IPO)市場の環境好転を受け、国内外のベンチャー企業への投資・育成ビジネスによる利益が計画を大きく上回り、また、マーケティング事業とペイメント事業も堅調に推移いたしました。さらに、当社の連結子会社であるecontext Asia Limitedが香港証券取引所に上場したことに伴い、特別利益として持分変動利益が発生したことから、四半期純利益は1,426百万円(同56%増)となりました。



代表取締役/グループCEO

林 郁



米国サンフランシスコにDG717開設

2013年11月に米国サンフランシスコにスタートアップ企業の育成を目的としたインキュベーションセンター(通称:DG717)をオープンいたしました。右の写真はオープニングイベントでのサンフランシスコ市長のEd Lee氏との記念写真です。市長はこの日、11月5日を『Digital Garage Day』としたことを宣言いたしました。DG717は、日本での活動を通じて培ったノウハウを活用し、よりグローバルな視点で米国はもとよりアジアを含む世界の様々な国や地域からやってきた起業家を育成し、共にビジネスを拡大していくことを通じて、グローバルなインキュベーション事業の柱となる予定です。



econtext ASIAが香港証券取引所にて株式公開

香港IPOで約68億円調達

DGグループの決済事業を統括するヘッドクォーター機能を担い、アジアにおける戦略子会社として香港に設立したecontext Asia Limited(econtext ASIA)が、2013年12月に香港証券取引所メインボード市場に上場いたしました。econtext ASIAは、DGのアジアにおける戦略子会社として、アジア各国の現地企業とともにEコマース、決済を中心としたインターネットビジネスを開拓し、地域の経済成長へ貢献するとともに、アジアと日本、米国を結ぶインキュベーションストリームのゲートウェイとしての機能を果たす予定です。



econtext ASIAの概要

中国語社名: 環亞智富有限公司 URL: <http://www.econtext.asia/> 証券コード: 1390 (香港証券取引所) 代表者: Chairman 林 郁、CEO 沖田 貴史

【2014.6期 第2四半期(2013.7～2013.12) 決算の概要】

(単位:百万円)	2013.6期 2Q		2014.6期 2Q		比率		2014.6期 通期	
	(累計実績)	(期初予想)	(累計実績)	(前年同期比)	(予想比)	(期初予想)	2Q(累計)進捗率	
売上高	13,846	15,000	15,622	+13%	+4%	32,000	49%	
営業利益	472	▲300	812	+72%	—	1,800	45%	
経常利益	1,167	350	1,687	+45%	4.8倍	3,500	48%	
当期純利益	913	100	1,426	+56%	14.3倍	2,100	68%	
EBITDA	2,269	940	2,926	+29%	3.1倍	4,800	61%	

Note: EBITDAは、税引前当期純利益に支払利息、減価償却費及びのれん償却費を加算して算出。

Incubation Segment

インキュベーション事業

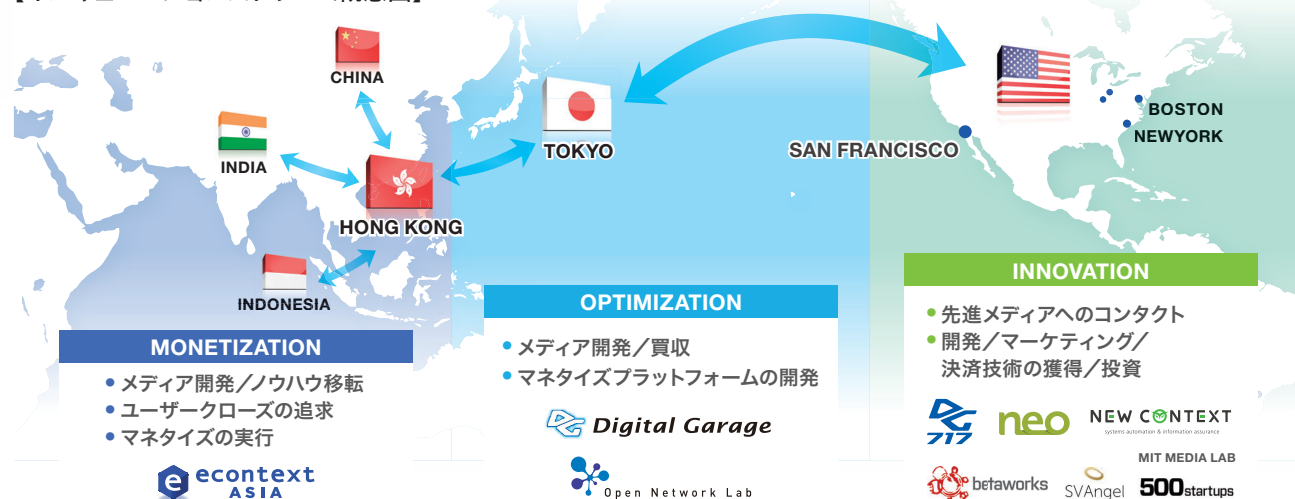
優良なスタートアップ企業の発掘から、開発支援、グローバル展開まで一貫したインキュベーション体制が確立

インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。

株DGインキュベーションの投資先では、2013年6月に株オークファン、11月に米国Twitter社と株メディアドゥが株式公開を果たすなど、事業環境は大きく好転しました。

DG717の竣工及びecontext ASIAの香港証券取引所上場、さらに米国で有数のベンチャースタジオとして注目を集めているBetaworks社との提携により、グループ全体を統括する東京のヘッドクォーターを加えた三極体制が整いました。今後は、シリコンバレー発の優良案件をアジア市場へとつなぐ「インキュベーションストリーム」によるグローバルな事業展開を加速させていきます。

【インキュベーションストリーム概念図】



Betaworks Studio, LLC

ニューヨークを拠点とし、ソーシャルメディア周辺の事業を次々にインキュベーションするスタートアップスタジオ

DGは、株DGインキュベーションを通じて、Betaworks社への出資と、海外から日本を目指すスタートアップ企業や、日本から海外を目指すスタートアップ企業の事業加速に向けた業務提携に関する協議について基本合意しました。



Marketing Segment

マーケティング事業

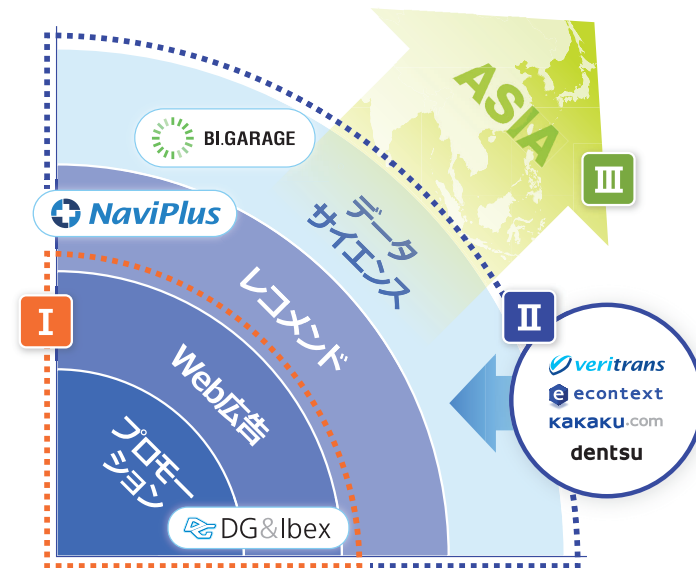
ウェブ広告、モール事業が成長を牽引 ～デジタルマーケティング事業に加えビックデータ事業を開始～

マーケティング事業におきましては、広告・プロモーションを手掛ける社内カンパニーであるディージー・アンド・アイベックスの金融等の業界特化型アフィリエイトマーケティングが好調に推移しています。また、2013年11月に、データサイエンス事業への参入を発表しました。DG

が蓄積した決済データと、グループ会社である株カカコムを持つ購買行動データ、電通グループの保有する広告関連データを融合しデータベース化、これを加工、分析し、マーケティング活動における顧客コミュニケーションの最適化を図るソリューションを提供していきます。

【マーケティングセグメントの事業戦略図】

- I デジタルマーケティング事業の深耕**
ウェブ広告・モール事業の伸張に加え、O2O戦略・BtoCメディア事業の収益化。
- II データサイエンス事業の成長拡大**
DGグループ、電通グループのビックデータを活用した新規事業を本格稼働。
- III 各事業のアジア展開**
ペイメントセグメントと連動した主要アジア地域への横展開。



株式会社BI.Garage

電通などと共同で設立した株式会社CGMマーケティングの社名を変更し、新事業を開始

BI.Garageという社名にはデータを戦略的にビジネスに活用することを表す「Business Intelligence」という意味を含めました。自社グループや戦略パートナーが保有する様々なデータを多角的に分析することを通じ、いかなる企業もこれまで見出していない「Serendipity」(気づき/予期せぬ幸運)をクライアント企業に提供することをBI.Garageのミッションとします。



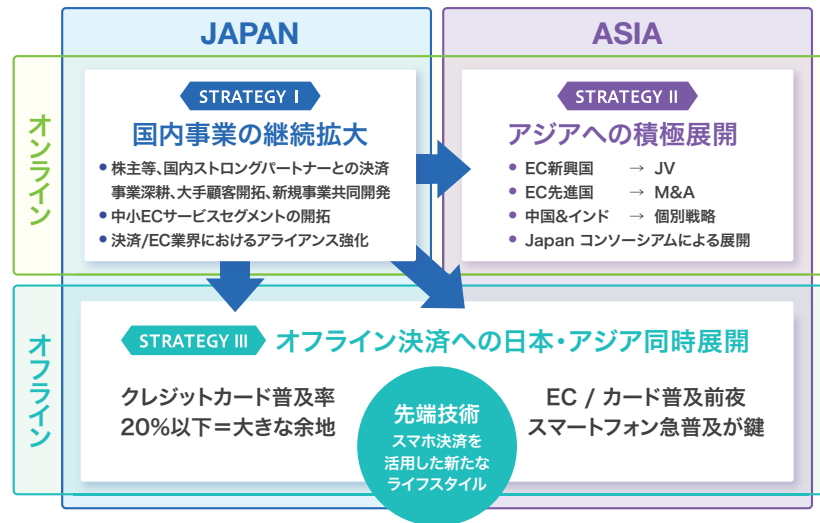
決済サービス及びEコマース関連事業のアジア展開を加速

～インドのオンライン決済大手のCitrus(シトラス)社に出資～

ペイメント事業におきましては、日本国内で決済事業を展開するベリトランス(株)及び(株)イーコンテクストにおいて、国内Eコマース市場の拡大を受け成長が続いています。また、決済事業のヘッドクォーターであるecontext ASIAの香港証券取引所への上場を契機に、国内、アジア展開を加速させていきます。すでに現地企業などと合併で、インドネシアと

中国で決済サービスを手がける企業を設立していますが、2013年11月にはインドCitrus社へ出資しました。成長著しいインドのEC市場に向けた事業展開の第一弾となります。また、オフライン決済/スマートフォン決済ソリューションのmPOSを開発し、多方面でのアライアンスをはじめ、新たな収益源としてグローバルに展開していきます。

【ペイメントセグメントの事業戦略図】



【スマートフォン向け決済ソリューション】



Citrus Payment Solutions Pte. Ltd. (出資比率 15.59%)

インドのオンライン決済プロバイダー(Citrus Payment Solutions Pvt. Ltd.)の持株会社

econtext ASIAは、2013年11月にシンガポールCitrus Payment Solutions Pte. Ltd.に出資しました。出資額は約460万米ドル(約4億7,400万円)で、外部株主としてはシリコンバレーの大手ベンチャーキャピタルであるSequoia Capitalに次いで2番目のシェアとなります。



グループ会社との連携強化

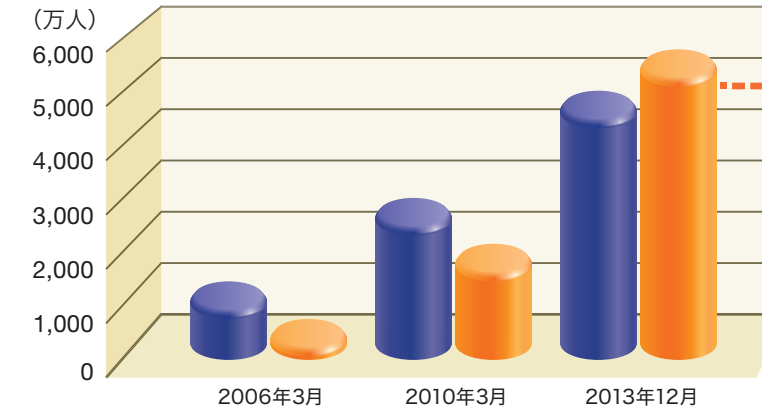
～(株)カカクコムとも順調にアライアンスを構築～

グループ企業におきましては、持分法適用関連会社である(株)カカクコムとのアライアンスが順調に進捗しています。(株)カカクコムとは、2010年11月より「価格.com安心支払い」サービスを開始しています。価格.comを利用するユーザーとEコマース事業者のための安心・安全な決済をサポートしています。

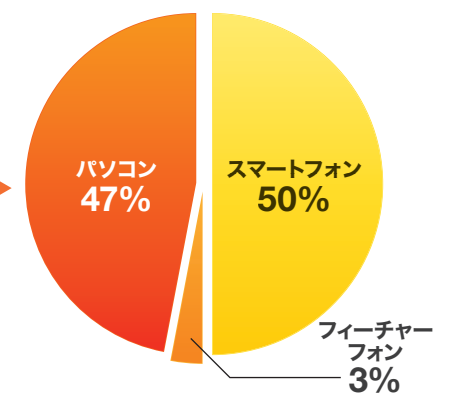
また、現在マーケティング事業で展開しているデータサイエンス事業においても(株)カカクコムと連携しています。カカクコムグループメディアは、現在、月間で約1億人ものユーザーに支えられ、成長が続いています。このような大規模なデータを保有する(株)カカクコムと電通グループ、DGグループの知見とノウハウを融合し、最先端のマーケティング事業を開発していきます。

カカクコムグループ利用者推移

【月間利用者数】 ● 価格.com ● 食べログ



【食べログの利用形態】(2013年12月)



価格.com <購買支援サイト>

パソコンや家電、ブロードバンドや携帯料金などの通信費、フード・ドリンクやインテリア、コスメなど多様なジャンルの商品やサービスの価格情報・商品情報・クチコミ情報などを集約して提供しています。



食べログ <ランキングとクチコミのグルメサイト>

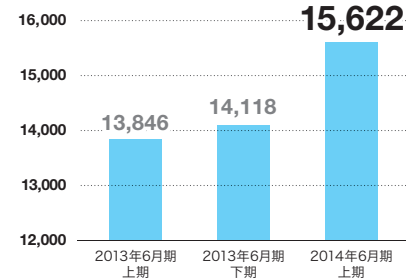
実際にレストランを利用したユーザーの皆様から寄せられたクチコミ・評価をもとに、各レストランを5点満点でレーティングすることで、信頼性の高いレストランランキングを提供しています。また、飲食店の皆様に向けた情報発信サービスもご好評をいただいています。



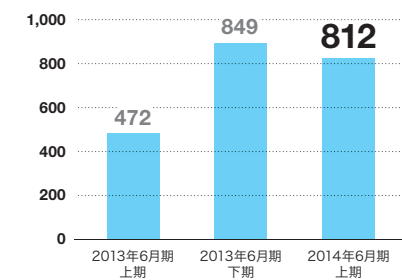
連結業績の半期別推移

(単位:百万円)

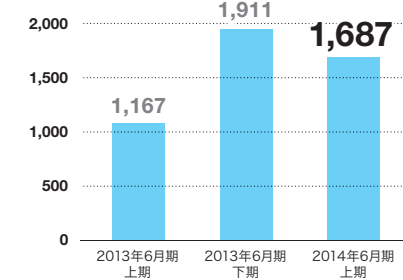
売上高



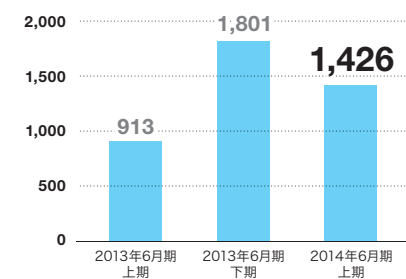
営業利益



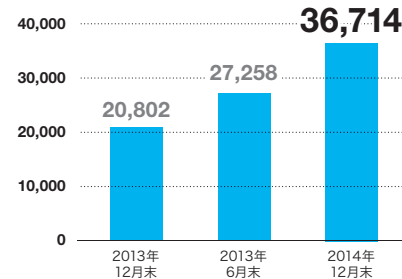
経常利益



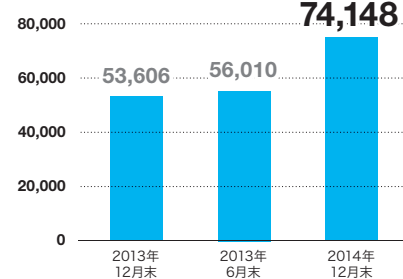
当期純利益



純資産額



総資産額

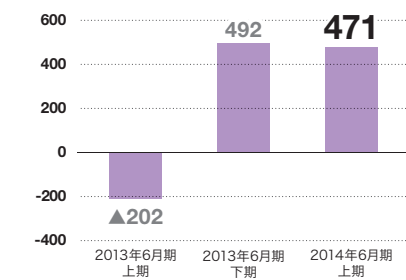


事業セグメント業績

(単位:百万円)

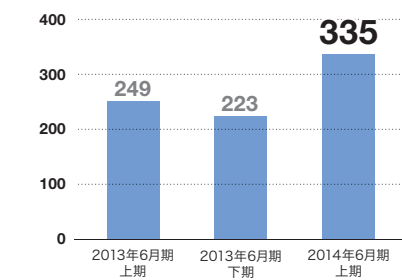
インキュベーション

営業利益



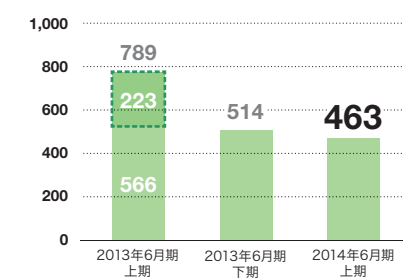
マーケティング

営業利益



ペイメント

営業利益



Note: ベリトランスグループの2013年6期は、決算期変更(3月期→6月期)に伴い、15ヶ月の変則決算を実施(上期:9ヶ月、下期:6ヶ月)。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)	2013.6期末	2014.6期 2Q末	前期末比(金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	33,837	51,589	+17,752	
現預金	15,329	22,836	+7,507	→ econtext ASIA上場に伴う資金調達
未収入金	9,037	11,416	+2,379	→ 決済事業関連項目
金銭の信託	3,768	3,152	-616	
営業投資有価証券	2,641	10,711	+8,070	→ 投資先上場に伴う時価評価
固定資産	22,173	22,559	+386	
投資有価証券	5,521	7,644	+2,123	→ 持分法による投資利益の増加・資本提携等
投資不動産	3,102	3,304	+202	
のれん	9,968	7,785	-2,183	→ econtext ASIA上場に伴う保有比率の減少
資産合計	56,010	74,148	+18,138	
流動負債	21,801	30,488	+8,687	
預り金	18,229	21,882	+3,653	→ 決済事業関連項目
有利子負債	305	2,297	+1,992	→ 運転資金需要の増加
繰延税金負債	13	2,778	+2,765	→ 時価評価に伴う増加
固定負債	6,950	6,946	-4	
有利子負債	6,799	6,729	-70	
負債合計	28,752	37,434	+8,682	
純資産	27,258	36,714	+9,456	
利益剰余金	7,003	8,195	+1,192	
その他有価証券評価差額金	31	4,820	+4,789	→ 税引後含み益
少数株主持分	1,468	5,129	+3,661	→ econtext ASIA上場に伴う増加
負債・純資産合計	56,010	74,148	+18,138	

純資産について

純資産増加の主な原因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により1,192百万円増加し、有価証券の時価評価等によりその他有価証券評価差額金が4,789百万円、econtext ASIAの香港上場により少数株主持分が3,661百万円増加したことによるものです。

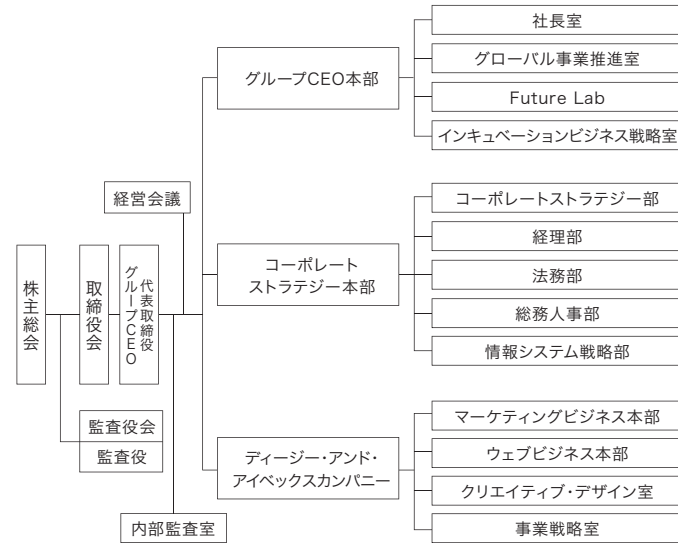
会社概要 (2013年12月31日現在)

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年(1995年)8月17日
 従業員 (単体) 250名
 (連結) 508名

役員 (2013年12月31日現在)

代表取締役 グループCEO	林 郁	取締役	伊藤 穰一
取締役副社長	六彌太 恭行	取締役	藤原 謙次
取締役	岩井 直彦	取締役	岡本 晋
取締役	曾田 誠	常勤監査役	牛久 等
取締役	踊 契三	監査役	坂井 眞
取締役	田中 将志	監査役	井上 準二
取締役	岡田 ジョーイ	監査役	牧野 宏司

組織図 (2013年12月31日現在)



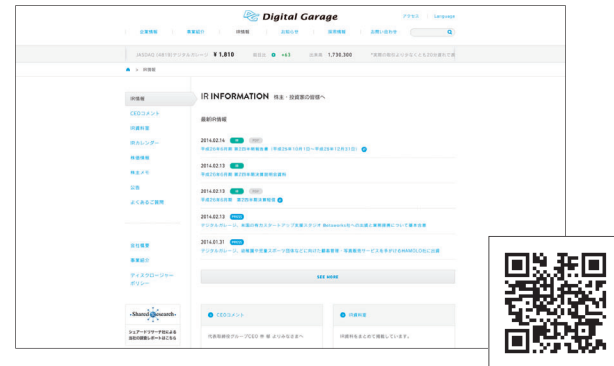
ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、DGグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。

当社Webサイト <http://www.garage.co.jp/ja/>



当社WebサイトIRページ <http://www.garage.co.jp/ja/ir/>



株式情報 (2013年12月31日現在)

発行可能株式総数：120,000,000株 発行済株式総数：47,206,400株 議決権総数：469,462個 株主数：10,879名

Note: 2013年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

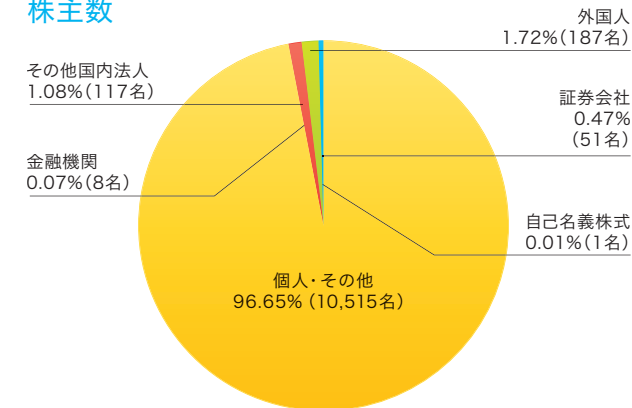
大株主 (2013年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,757,000	14.39%
株式会社電通	3,300,000	7.02%
モルガンスタンレーアンドカンパニーエルエルシー	1,954,270	4.16%
ザバンク オブ ニューヨーク 133524	1,612,300	3.43%
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,522,032	3.24%
TIS株式会社	1,483,800	3.16%
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	1,481,465	3.15%
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアンツ 613	1,417,998	3.02%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,101,817	2.34%
ジェーピーエムシーピー クレディ スイス セキュリティーズ ヨーロッパ ジェーピーワイ 1007760	839,953	1.78%

※持株比率は自己株式(256,800株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (2013年12月31日現在)

株主数



株式数

